

特別区議会議員講演会・特別区協議会

## 「少子化対策の可能性 ー 若者への支援をめぐって」

2015年12月1日(火)

山田昌弘 (中央大学・教授)

### 1. 少子化でなかなか語られないこと 少子化の基本

#### ①少子化の原因は結婚の減少にある

結婚した夫婦は平均1.9人産んでいる  
結婚しないで産む人は少数(2%程度)

#### ②結婚したくても「できない」ことが主因

未婚者の結婚希望率は約9割

#### ③若者をめぐる環境(雇用、男女交際)が激変 しているのに、意識は変わらない

## 1. 少子化でなかなか語られないこと 少子化分析のタブー

### 「お金」と「性関係」

この構造が大転換していて、少子化の重要要因なのに、タブーとして避けられる

お金が十分なければ子どもを育てたくない  
(子どもがかわいそう — 子どもへの愛情)

セックスしなければ子どもは産まれない  
(セックス相手がみつからない)

3

## 1. 少子化でなかなか語られないこと

### 日本の結婚、恋愛の現在

#### ①結婚する人、している人の減少

未婚者率 30代前半—男性47.3%, 女性34.5%  
(2010年) 30代後半—男性35.6%, 女性23.1%

#### ②独身者で交際している人がいる人の減少

恋人あり率 18—35歳 男性25%,女性35%(2010年)

4

## 1. 少子化でなかなか語られないこと 「絶食化」する日本の男女交際

### 欧米 結婚は少なくとも男女交際活発

同棲率高い 結婚前に同棲するのが普通

未婚で生まれる子 5割以上(北欧、フランス等)

### 日本 結婚も同棲も男女交際も低調

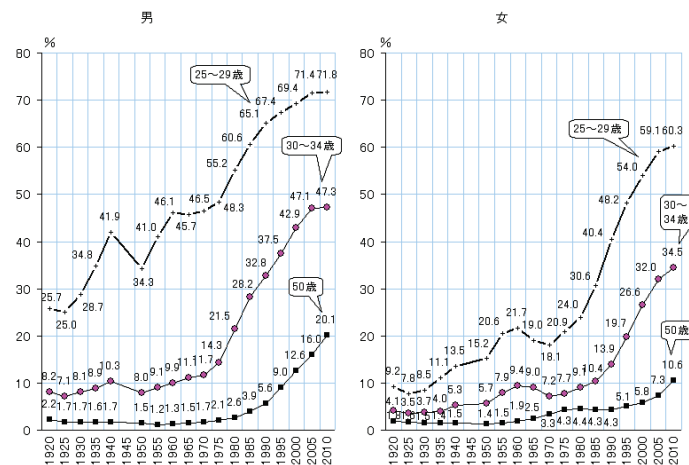
同棲率 2%未満(2010年1.6%) 減少中

未婚で生まれる子 2%前後

5

## 1. 少子化でなかなか語られないこと 「絶食化」する日本の男女交際

### 年齢別未婚率の推移



(注) 配偶関係未詳を除く人口に占める構成比。50歳時の未婚率は「生涯未婚率」と呼ばれる(45~49歳と50~54歳未婚率の平均値)。

(資料) 国勢調査(2005年以前「日本の長期統計系列」掲載)

6

## 1. 少子化でなかなか語られないこと 「絶食化」する日本の男女交際

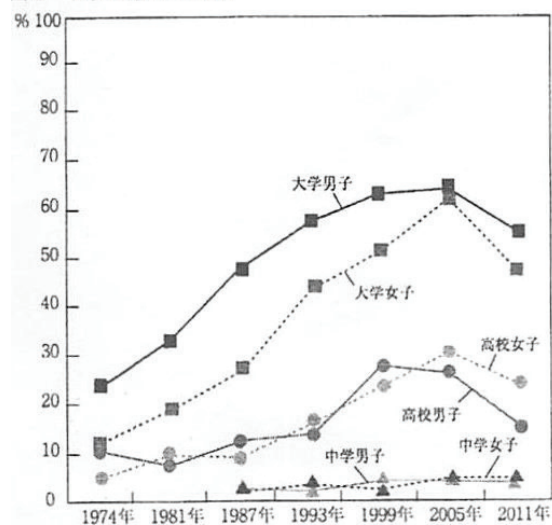
- 表 独身者で交際相手をもつ率の変化 18歳-35歳
- (国立社会保障・人口問題研究所 出生力調査より 数字%)

|               |      |      |      |      |      |      |
|---------------|------|------|------|------|------|------|
| 男性            | 1987 | 1992 | 1997 | 2002 | 2005 | 2010 |
| ■ 恋人あり(含む婚約者) | 22.3 | 26.3 | 26.2 | 25.1 | 27.2 | 24.6 |
| ■ 交際中異性の友人有り  | 23.6 | 19.2 | 15.3 | 11.3 | 14.0 | 9.4  |
| 女性            |      |      |      |      |      |      |
| ■ 恋人あり(含む婚約者) | 30.8 | 35.5 | 35.4 | 37.0 | 36.7 | 34.0 |
| ■ 交際中の異性の友人有り | 25.4 | 19.5 | 15.9 | 12.4 | 12.9 | 11.9 |

7

## 1. 少子化でなかなか語られないこと 「絶食化」する日本の男女交際(日本性教育協会調査)

図3 性交渉率の推移



8

## ■ 1. 少子化でなかなか語られないこと 「絶食化」する日本の男女交際

(内閣府・結婚・家族形成に関する意識調査 報告書 2015年)

### \* 独身者の交際実態(20-39歳の独身者)

|           | 恋人有り  | 恋人なし(経験有) | 恋人経験なし  |
|-----------|-------|-----------|---------|
|           | 35.6% | 40.8%     | 23.3%   |
| ( 2010年調査 | 36.2% | 37.9%     | 25.8% ) |

### \* 恋人がいない独身者の交際意欲(恋人が欲しいか)

|    |                 |                       |
|----|-----------------|-----------------------|
| 男性 | 61.5%           | (20代 58.1%、30代 66.1%) |
|    | (年収400万以上 79.7% | 400万未満 53.7%)         |
| 女性 | 60.1%           | (20代 57.6%、30代 64.8%) |
|    | (年収200万以上 70.7% | 200万未満 52.1%)         |

(2010年調査 男性67.3% 女性70.3%)

9

## ■ 1. 少子化でなかなか語られないこと 「絶食化」する日本の男女交際

(内閣府・結婚・家族形成に関する意識調査 報告書 2015年)

### \* 交際不安(恋人がいない未婚者)

|                     | 男性    | 女性    |
|---------------------|-------|-------|
| そもそも出会いの場がない        | 52.4% | 58.9% |
| 自分には魅力がないのではと思う     | 32.8% | 35.8% |
| 自分が恋愛感情を抱くことができるか不安 | 16.6% | 24.8% |
| どのように声をかけてよいか分からない  | 21.6% | 18.2% |
| 恋愛交際の進め方が分からない      | 20.3% | 19.3% |

### \* 恋愛意識

|                  |       |       |
|------------------|-------|-------|
| 相手からアプローチがあれば考える | 33.3% | 47.8% |
| 交際すると結婚を考える      | 41.2% | 47.6% |
| 恋愛は面倒だと感じる       | 26.8% | 25.7% |

10

## 1. 少子化でなかなか語られないこと 「絶食化」する日本の男女交際

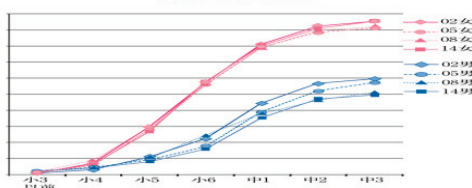
- 表 セックスをすることに「関心がない+嫌悪している」割合
- (日本家族計画協会、男女の生活と意識に関する調査 既婚含)

| 男性       | 2008年 | 2014年 |
|----------|-------|-------|
| ■ 16-19歳 | 7.5%  | 34.0% |
| ■ 20-24歳 | 11.8% | 21.1% |
| ■ 25-29歳 | 8.3%  | 21.6% |
| 女性       |       |       |
| ■ 16-19歳 | 46.9% | 65.8% |
| ■ 20-24歳 | 25.0% | 39.2% |
| ■ 25-29歳 | 25.0% | 33.0% |

11

## 1. 少子化でなかなか語られないこと (東京都幼・小・中・高・心性教育研究会)

精通と初経の推移

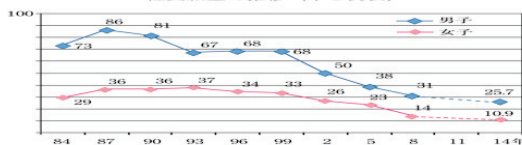


### 2. 異性に関すること

「あなたは、今まで性的接触(性交)をしたことがありますか」では、過去の調査からの推移をみると、3年男子では「ある」と答えた生徒の割合が、87年の86%をピークに激減し、今回の調査では25.7%と50ポイントも減っている。3年女子も約25ポイントも減っている。

これは先に述べた男子の発育の遅れなどとの関連が懸念されるほか、「草食系男子」と言われるような若者が増え、次代を担う世代がさらなる少子化を進行させるといった、大きな社会問題に繋がる可能性がある。

性交願望の推移 (中3男女)



### 3. 性情報に関すること

「あなたは、インターネットにつながる機器を持っていますか。持っているものをすべてこたえてくだ

12

## 1. 少子化でなかなか語られないこと 「絶食化」する日本の男女交際

### ■ 草食化から絶食化へ

草食系 異性と交際したいという欲求はあるけど、  
自信がないから自分からは声をかけられない男性

絶食 異性と交際したいという意欲自体が低下  
つきあうのが面倒(めんど)くさい(特に男性)  
他に楽しいことがある  
結婚しない相手なら時間の無駄(女性)  
性欲、交際意欲も低下

13

## 2. 現代日本の未婚化の背景

### ■ 1. 結婚の二つの意味

- ① 経済的に豊かな生活を送る
- ② 好きな人と一緒に暮らす

### ■ 戦後家族モデル

「男は主に仕事、女は主に家事で 豊かな  
生活を築く」

豊かな生活 持ち家、家電製品、子どもの教育、レジャー

14

## 2. 現代日本の未婚化の背景

### 《1980年代まで結婚が容易にできた理由》

- ① 経済的な心配はなかった
- ② 出会いが容易だった
- ③ 恋愛へのあこがれがあった
  - ✓ 恋愛にあこがれて、好きな人と出会って、「男が主に仕事、女が主に家事で豊かな生活(住宅、車、家電、子の教育費)」することが可能な経済条件があった

15

## 2. 現代日本の未婚化の背景

### 《1980年代まで結婚が容易にできた理由》

- ✓ 経済状況 若者男性「正社員」か「自営業者の跡継ぎ」として安定した収入が保証
  - 結婚に当たっての経済的な心配は不要
  - 男性の経済格差 あまりない(特に若年男性)
  - 「男が主に仕事、女が主に家事で豊かな生活」可能
  - 女性は相手が誰でも安心して専業主婦になれた

16



## 2. 現代日本の未婚化の背景

### 《1980年代まで結婚が容易にできた理由》

#### ✓ 男女交際 自然な出会いと見合い

（自ら活動しなくても結婚相手候補に出会えた）

#### 恋愛結婚の半数 — 職場結婚

（男女とも正社員、身近に未婚異性が多い、社内サークル）

ゆっくり相手と親しくなる時間的余裕があった

見合い 男性の経済格差あまりない—妥協できる

17

## 2. 現代日本の未婚化の背景

### 《1980年代まで結婚が容易にできた理由》

#### ✓ 恋愛へのあこがれ

欧米や日本のテレビ・ドラマで、楽しい恋愛が描かれ、  
自分もそのような恋愛結婚ができるのではとの期待

親は、「見合い結婚」だから、仲良くない夫婦と思えた。  
だけど、自分が恋愛結婚したら、ラブラブの夫婦になれる  
と信じることができた。

「あこがれ」だから、見合いでも諦められた

18

## 2. 現代日本の未婚化の背景

### ①昔ながらの結婚

「自然に出会い、男性の収入で妻子を養う」  
は、もはや多くの人にとって、**無理**

### ②若者 雇用形態も、恋愛経験も多様 — **格差**が大きい

若者が置かれた現実を知ることが必要

19

## 2. 現代日本の未婚化の背景

### 《近年の未婚化の理由》

#### ① 経済的な不安

#### ② 出会いの減少

#### ③ 恋愛へのあこがれ消失

- ✓ 恋愛へのあこがれもなく、未婚の「適当な」異性が周りにいないし、「男が主に仕事、女が主に家事で豊かな生活」を送る見通しがたたない「若者」が激増

20

## 2. 現代日本の未婚化の背景

### 《近年の未婚化の理由① 経済不安》

- A 若者(特に男性)の経済力低下  
若年男性 経済格差が拡大
- B 男性が経済的に扶養するものという意識  
(専業)主婦志向が強い
- C 親と同居していつまでも待てる  
パラサイト・シングル

21

## 2. 現代日本の未婚化の背景

### ① 経済不安 A 若年男性の経済力低下

### 《近年の未婚化の理由 ①経済不安》

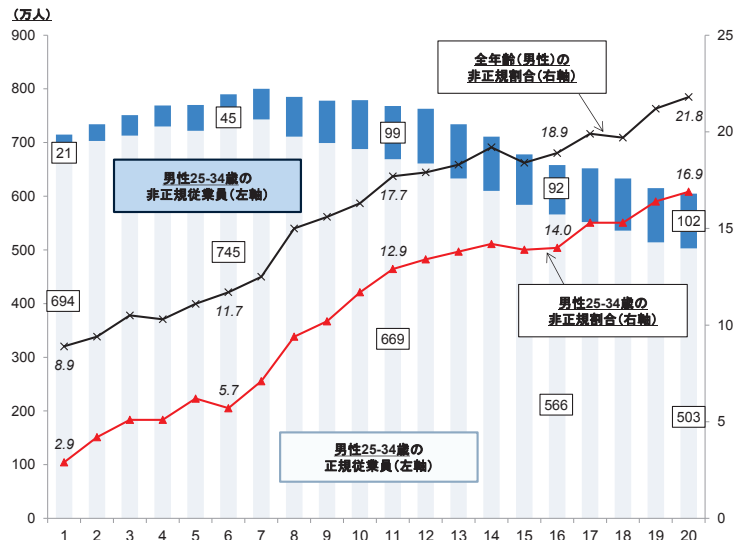
- ✓ A 若者(特に男性)の経済力低下  
若年男性 経済格差が拡大  
1990年代半ば グローバル化  
正社員として就職できない若者の増大  
未婚男性の4割は(低収入の)非正規雇用か無職  
妻子を養える収入を得られない男性増大

22

## 2. 現代日本の未婚化の背景

### ① 経済不安 A 若年男性の経済力低下

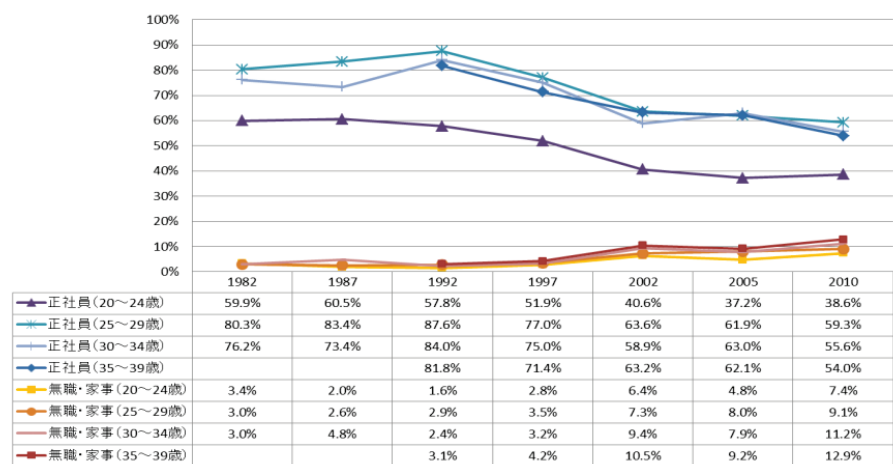
「雇用者」のうち正規・非正規雇用者数の推移  
【男性25-34歳】



23

## 男女とも未婚の非正規雇用者が増大(男性)

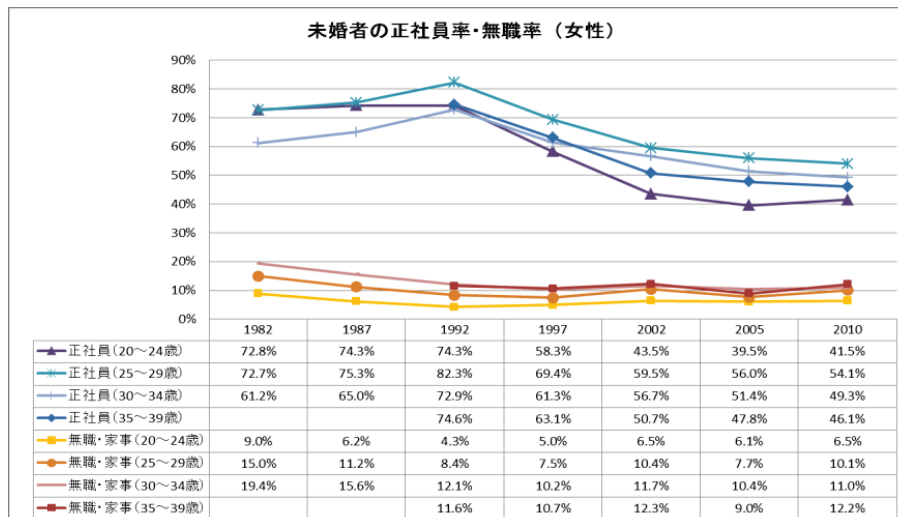
未婚者の正社員率・無職率（男性）



出典: 出生動向調査(国立社会保障・人口問題研究所)

24

## 男女とも未婚の非正規雇用者が増大(女性)



25

## 2. 現代日本の未婚化の背景

### ① 経済不安 B 男性が経済的に扶養 意識の残存

#### 《近年の未婚化の理由 ①経済不安》

✓ B 男性が経済的に扶養するものという意識

専業主婦志向(せめて子どもが小さい内)が強い

「結婚後、男性の収入で暮らすのが当然」 8割

「男が仕事、女は家事」賛成率 世界的にみて高い

若年女性の専業主婦志向 近年強まっている

(正社員長時間労働、非正規雇用率 高い)

26

## 2. 現代日本の未婚化の背景

### ① 経済不安 B

- 内閣府の男女共同参画に関する世論調査より
- 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、賛成の人の割合(%)

|         |      |      |      | 女性   |      |      |      |      |      |  |
|---------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--|
|         | 全体   | 男性   | 女性   | 20代  | 30代  | 40代  | 50代  | 60代  | 70以上 |  |
| ■ 2002年 | 47.0 | 51.3 | 43.3 | 33.2 | 32.9 | 37.5 | 40.6 | 50.8 | 63.8 |  |
| ■ 2007年 | 44.8 | 50.7 | 39.9 | 40.2 | 35.0 | 31.7 | 34.3 | 43.1 | 54.8 |  |
| ■ 2012年 | 51.6 | 55.2 | 48.4 | 43.7 | 41.6 | 41.0 | 40.4 | 52.3 | 62.2 |  |

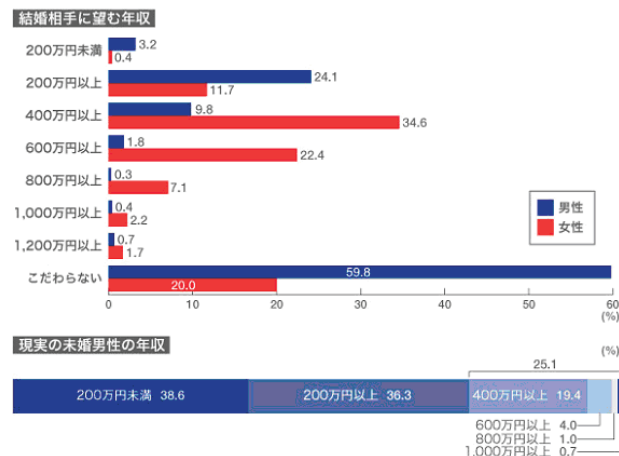
27

## 2. 現代日本の未婚化の理由

### 図表 未婚女性の期待と現実の男性の収入のギャップ

(明治安田生命より)

結婚相手に望む年収と現実の未婚男性の年収の比較



出所：明治安田生活福祉研究所・「生活福祉研究」号。データは2009年の「結婚に関する調査」（全国ネット20～39歳、4120名の未婚者が回答）

28

## 2. 現代日本の未婚化の背景

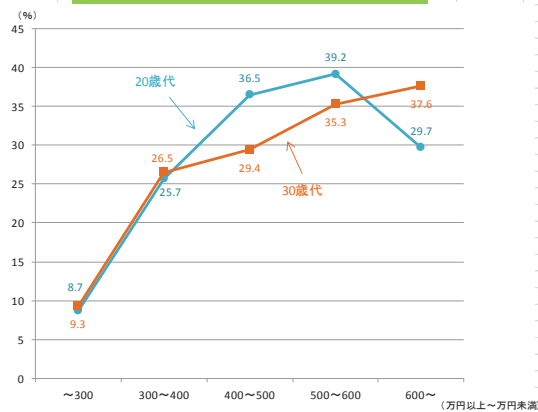
### ① 経済不安 B

年収と結婚の関係

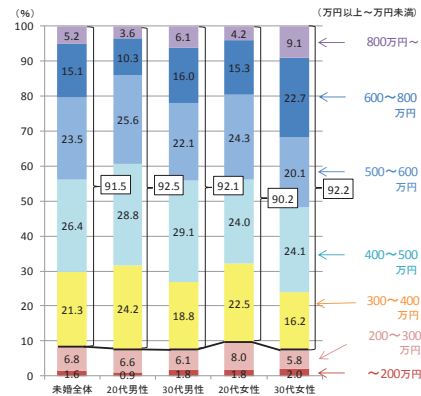
資料1-5

- 20～30歳の男性について年収別の婚姻状況を見ると、年収が300万円未満の場合、20歳代・30歳代ともに既婚率が10%を下回り、年収300万円以上の既婚割合（25～40%弱）と比較して、大きな開きがある。
- 結婚生活をスタートさせるに当たり必要だと思う年収については、20～30歳の9割以上が「年収300万円以上」と回答している。

年収別に見た20～30歳代男性の既婚率



結婚生活に必要なと思う夫婦の年収



(出所)内閣府「結婚・家族形成に関する調査報告書」(平成22年度)

(注1)20～30歳の「未婚者」と同年代の「結婚3年以内の既婚者」のみを調査対象としているため、20～30歳の「合計」は、20～30歳の全体とは異なることに留意が必要。

(注2)性別・年代・未婚者については、総務省「国勢調査報告」(平成17年)をもとにウエイバック集計。

(出所)内閣府「結婚・家族形成に関する調査報告書」(平成26年度)

(注)「収入は関係ない」「わからない」「無回答」を除いた割合。

29

## 2. 現代日本の未婚化の背景

### ① 経済不安 C パラサイトシングル現象

#### 《近年の未婚化の理由①経済不安》

- ✓ C 親と同居していつまでも待てる

#### パラサイト・シングル(寄生単身者)の増大

日本 大部分の未婚者(特に低収入者)親と同居

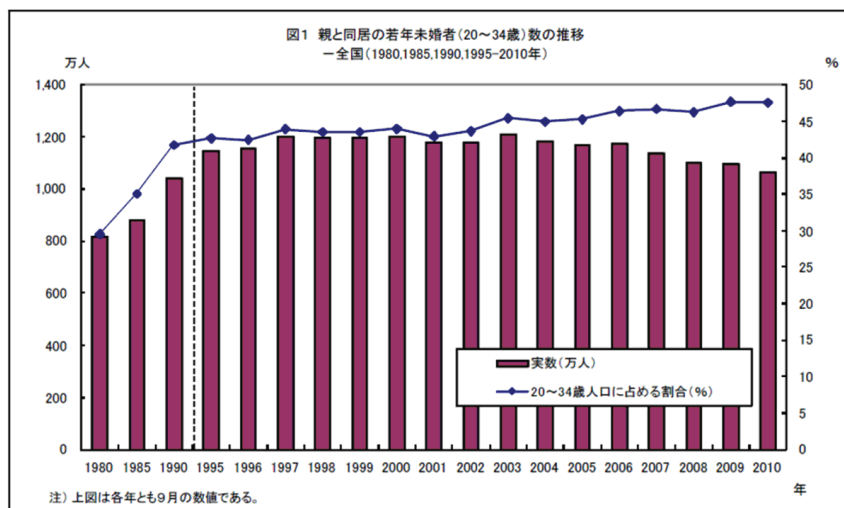
- ✓ 女性・・・収入が高い男性が現れるのを待つ  
(自分の収入が低くても、親同居なら生活できる)
- ✓ 男性・・・自分の収入でもOKといってくれる女性を待つ  
自分の収入が高くなるまで待つ

30

## 2. 現代日本の未婚化の背景

### ① 経済不安

図表 親と同居の若年未婚者数の推移



31

## 2. 現代日本の未婚化の背景 若年女性をめぐるパラドックス

(図表) 生活に満足している人の割合(%)  
→ 生活満足度の高い若年女性

|    | 20代  | 30代  | 40代  | 50代  | 60代  | 70代以上 |
|----|------|------|------|------|------|-------|
| 女性 | 75.2 | 70.5 | 60.4 | 58.9 | 67.2 | 69.5  |
| 男性 | 65.9 | 59.2 | 55.5 | 51.1 | 64.7 | 70.7  |

(内閣府国民生活に関する世論調査 2012年10月)

32



## 2. 現代日本の未婚化の背景

### ① 経済不安

#### ■ 戦後家族モデルの経済的限界

「男は主に仕事、女は主に家事で豊かな生活を築く」  
タイプの家族を

経済的に作れない若者が増えた

#### \* 若者の経済的弱者化

日本だけでなく、欧米、東アジアでも一緒

33

## 2. 現代日本の未婚化の背景 ① 経済不安 戦後家族モデルの経済的限界

戦後家族モデルを作れる若者と、

作れない若者に分裂し後者が増大

\* 欧米 戦後家族モデルから転換

\* 日本

結婚して豊かな生活が作れないなら  
結婚しないで親と同居していた方がまし

男性 諦め、 女性 待ち

34

## 2. 現代日本の未婚化の背景

### 《近年の未婚化の理由② 出会いの減少》

#### A. 現実に自然な出会いが減少

正社員の長時間労働(若年正社員労働時間増大)

非正規化(入れ替わり激しく、正社員との交流なし)

長期間、ゆとりをもって親しくなる機会の減少

(職場での未婚正社員絶対数減少、全員加入の若者組織崩壊 — 社内サークル、青年団、労働組合青年部)

35

## 2. 現代日本の未婚化の背景

### 《近年の未婚化の理由② 出会いの減少》

#### B 経済的に釣り合った相手が身近にいない

\* 身近にいる異性は、経済的に結婚できない

\* 見合い—経済的に十分な相手が供給できない

「非正規社員男性を紹介したら、絶交された」

「娘さんと母親が会社四季報をもって待ってた」

(ある見合いおばさんの述懐 — 小澤千穂子大妻女子大学教授の調査)

36

## 2. 現代日本の未婚化の背景

### 《近年の未婚化の理由② 出会いの減少》

#### C 日本社会 偶然の出会い低調(5%程度)

日本社会 そもそも社交が苦手

知った人ではないと声をかけない

リスク意識が高い(危なそうなものには近づかない)

身近な仲間とばかり話す

(SNSの発達 仲間にこもる傾向に拍車)

37

## 2. 現代日本の未婚化の背景

### 《未婚化理由③ 恋愛へのあこがれ消失》

#### A 恋愛(結婚) 楽しいモデルがない

\* 恋愛結婚してるはずの親 ラブラブではない

恋愛結婚しても楽しい夫婦生活ではない

\* 恋人がいる人へのやっかみ、

恋人がいることを隠そうとする

恋愛の楽しさを周りに話せない「リア充」

38

## 2. 現代日本の未婚化の背景

### 《未婚化理由③ 恋愛へのあこがれ消失》

#### 2 恋愛 コストとなる

\* 恋人になるには「告白 (confession)」が必要

告白 — 好きだと告げて相手のOKをもらう

気軽にデートに誘えない(お互い確かめ合うのが先)

\* 結婚しない相手とつきあうのは時間の無駄(女性)

お金の無駄(男性)

**\* 気にいった異性がいても、声をかけなくなる**

39

## 2. 現代日本の未婚化の背景

### 《結婚後の経済問題》

#### 1. 子どもを理想の数まで産まない理由

子育てにお金がかかる

その時のお金だけでなく、子どもの教育費を考えると多くは産めない(東アジアに共通要因)

#### 2. セックスレスの問題

子ども一人夫婦にセックスレスが多い

(家族計画協会調査 セックスレス率増大)

40

### 3. 恋愛感情はどこにいく

#### ■ 1. 結婚の二つの意味

① 経済的に豊かな生活を送る

② 好きな人と一緒に暮らす

■ 「男は主に仕事、女は主に家事」を期待していたのでは、不可能な時代になる。

日本と欧米では対応が違う

41

### 3. 恋愛感情はどこにいく

#### ■ 欧米諸国

② 好きな人と一緒に暮らす 優先

恋愛の活性化、同棲、婚外子の一般化

① 経済生活

女性の職場進出と政府の支援で何とかする

共働き(女性も家計を支える)当然視

政府の若者への経済支援

42

### 3. 恋愛感情はどこに行く

#### ■ 欧米諸国の若者

- \* パラサイト・シングル(親同居)ではない  
成人すると男女とも独立を求められる  
他人と一緒に暮らさなければ、生活できない  
→ 同棲の増大

シェアハウス 異性と知り合う機会の増大)

独身は高収入者の贅沢品(アメリカの現実)

43

### 3. 恋愛感情はどこに行く

#### ■ 欧米諸国の若者

- \* 収入が低くてもパートナーを得られる  
同棲、結婚して収入を合わせなければ、まともな生活できない  
出産、子育てに手厚い公的支援  
経済的に不安定でも、子育てが可能に  
子どもは義務教育まで育てればよい

44

### 3. 恋愛感情はどこに行く

#### ■ 日本 ① 経済生活を優先

\* 「男性 仕事、女性 主に家事」への固執

男性(収入不安定層) 諦め

女性 安定収入男性を巡って争奪戦  
(誤解された「婚活」)

#### ② 好きな人と一緒に暮らす 二の次に

45

### 3. 恋愛感情はどこに行く

#### ■ 日本の恋愛感情は、どこに行く 1

親密感情の充足

#### ① 同居の親(独身者の8割は親同居)

と親密な関係(寂しくない、自分を大切にしてくれる人はいる)

② 同性の友人たち(恋人がいない友人同士で楽しい時間を過ごす)

#### ③ ペット

46

### 3. 恋愛感情はどこに行く

#### ■ 日本の 恋愛感情は、どこに行く 2

##### ロマンティック感情、性欲の充足

##### ① バーチャルな恋愛での充足

女性 アイドルスターの追っかけ、やおい(腐女子)

男性 AKB(握手できる)、恋愛パソコンゲーム  
ネット恋愛、アニメ「萌え」

##### ② 一時的な関係を買う

メイドカフェ JK散歩、キャバクラ、性風俗(主に男性)  
(面倒がない、確実にOKが貰える、大切にされる)

47

#### 香港にもできたメイド・カフェ



48



#### 4. 未婚化社会の将来 家族格差社会の到来

### 《生涯独身者の増大》

#### 予測

今の若者の25%は、生涯未婚、  
25%は一度は離婚

結婚して離婚しないで過ごす若者は二人に一人

49

#### 4. 未婚化社会の将来

### 《現在、中高年親同居未婚者が急増》

2014年 308万人(35-44歳)

一割が失業者、2～3割は非正規

男性－経済不安定だから結婚できない

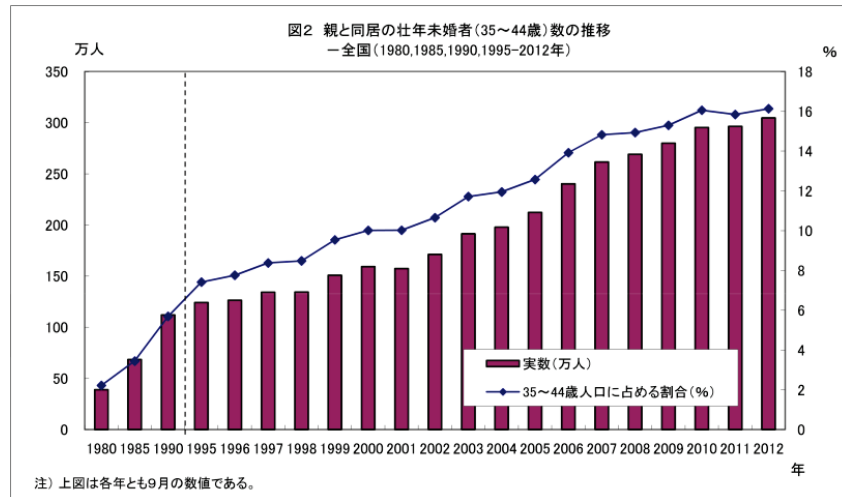
女性－女性差別－正社員が少ないから

\* 親の年金にパラサイトする中年増大

\* 高齢者虐待の温床 － 世話する立場への

50

#### 4. 未婚化社会の将来 壮年親同居未婚者の増大



51

#### 4. 未婚化社会の将来

##### 《中高年親同居未婚者の将来》

現在、無縁死(孤立死)年3万程度  
(80歳の生涯未婚率に相当)

家族がなくて、高齢を迎える人の増大

無縁死 2040年には、年30万人以上になる  
(1960年生まれ、生涯未婚率20%とする)

52

## 5. 結婚支援の課題

### 《結婚支援の課題》

- ① 経済的な不安(格差拡大)
- ② 出会いの減少
- ③ 恋愛へのあこがれ消失

これを全て反転させなければならない

この三つのどれが欠けても結婚は増えない

53

## 5. 結婚支援の課題

### 《データ婚活の限界》

- \* 恋愛なしで、経済的な安定を求める婚活
  - ー 限界に突き当たる
- \* マッチング、見合いパーティで選ぶ→ データが前面に
  - データで十分な相手がいない
  - 相手から選ばれない
- \* **好きという気持ちが弱い データで妥協できない**

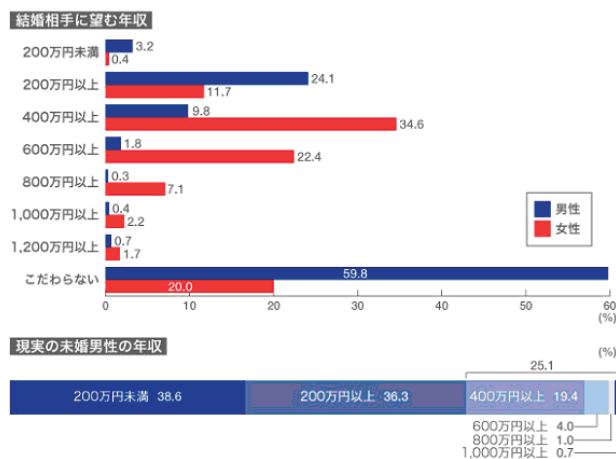
54

## グラフ再掲

図表 未婚女性の期待と現実の男性の収入のギャップ  
(再掲)

(明治安田生命2010年より)

結婚相手に望む年収と現実の未婚男性の年収の比較



55

## 5. 結婚支援の課題

### 《結婚支援の課題》

「経済力、コミュニケーション力、見た目に自信がない男性」  
の存在を前提とした施策が必要

- ① そのような男性と結婚してもよいという女性を増やす  
経済的不安の解消、女性の経済的自立
- ② 男性の経済力、コミュニケーション力、見た目を改善  
自分に足りない部分の改善の支援
- ③ 男女交際の活性化を推進 — 恋愛感情の刺激  
3人とつきあい4人目に結婚が平均(せめて一人目)

56

## 5. 結婚支援の課題

### 《恋愛は活性化できるのか》

- \* 恋愛(結婚)へのあこがれの復活  
カップルや「夫婦」、楽しそうにする  
楽しく交際している人を応援する
- \* いいなと思える異性を周りに増やす  
未婚の異性が集まる作る
- \* 釣書ではなく、相性による出会いを作る  
ビッグデータ コンピューターによる偶然の出会い

57

## 付録 日本の少子化の本質 日本の階級社会化 1 (一般向けの講演では話しません)

### 《日本の少子化－経済格差拡大への反応》

1990年までの日本社会 中流社会

ほとんどの若年男性の雇用が安定し、収入が増大

結婚して家庭を作れば、だれでも「持ち家」「自家用車」「子どもを大学に入れて学費を払う」が可能と思えた

1990年以降 若者の経済格差拡大 階級社会への移行

安定した経済基盤を持つ若者と、不安定な若者に分裂

不安定雇用の男性と結婚しても、持ち家、自家用車、子どもを全員大学に行かせることは経済的に無理

58

## 《日本の少子化－経済格差拡大への反応》

現在、階級社会化が若者より年次進行中

親世代は中流家庭を形成できている

子世代は階層分解過程

→世代的下降移動の可能性に直面

未婚化、少子化は、下降移動を回避するための方策

結婚して親より生活水準が低下するのを回避

(パラサイトシングル、婚活)

子どもを少なくし生活水準が低下するのを回避

少子化が止まる二つのシナリオ

### ① 経済格差拡大が反転する(社会民主主義型)

若者の雇用格差の縮小(正規非正規の格差是正、女性の安定雇用の増大、社会保障の下支え) 全員が、結婚すれば持ち家を持てる、子どもを大学に行かせられる

### ② 階級社会化の完成(アメリカ型)

親世代が下層であれば、子どもも下層であっても家族形成  
中流同士が結婚して今まで通りの家族形成  
下層同士が結婚して下層社会の再生産(住宅や子どもを大学に入れることははなから諦める)

## 参考

- 内閣府 『結婚・家族形成に関する調査報告書』 2010年  
『結婚・家族形成に関する意識調査報告書』 2015年  
山田昌弘・白河桃子 『婚活時代』(ディスカヴァー21) 2008年  
『婚活症候群』(ディスカヴァー21) 2013年  
山田昌弘(編) 『婚活現象の社会学』(東洋経済新報社) 2010年  
山田昌弘 『少子社会日本』(岩波書店) 2007年  
山田昌弘 『家族難民』(朝日新聞出版) 2014年  
山田昌弘 『女性活躍後進国ニッポン』(岩波書店) 2015年

61

ご清聴ありがとうございました



62